



平成23年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年4月12日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社 進和
コード番号 7607 URL <http://www.shinwa-jpn.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 下川 浩平

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 後藤 博介

四半期報告書提出予定日 平成23年4月13日 配当支払開始予定日

TEL 052-796-2533
平成23年5月19日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年8月期第2四半期の連結業績(平成22年9月1日～平成23年2月28日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年8月期第2四半期	11,891	20.3	586	256.7	663	204.9	408	—
22年8月期第2四半期	9,886	△40.3	164	△78.3	217	△57.8	34	△78.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年8月期第2四半期	31.70	—
22年8月期第2四半期	2.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年8月期第2四半期	21,042	13,381	63.6	1,037.05
22年8月期	20,130	13,044	64.8	1,010.93

(参考) 自己資本 23年8月期第2四半期 13,380百万円 22年8月期 13,044百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年8月期	—	15.00	—	15.00	30.00
23年8月期	—	18.00	—	—	—
23年8月期(予想)	—	—	—	15.00	33.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

平成23年8月期第2四半期末配当金の内訳は、普通配当15円、創立60周年記念配当3円であります。

3. 平成23年8月期の連結業績予想(平成22年9月1日～平成23年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,400	20.4	1,242	50.6	1,284	45.4	637	114.8	49.37

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.4「2. その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年8月期2Q 14,415,319株 22年8月期 14,415,319株

② 期末自己株式数 23年8月期2Q 1,512,424株 22年8月期 1,512,191株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年8月期2Q 12,903,013株 22年8月期2Q 12,903,215株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. その他の情報	4
(1) 重要な子会社の異動の概要	4
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	4
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、アジアを中心とした新興国需要の底堅さに支えられ、国内景気は緩やかな回復傾向で推移してまいりました。

当社グループの主要ユーザーである自動車業界におきましては、国内では、補助金制度の終了にともない販売台数の減少が続いているものの、海外においては、新興国市場の拡大や北米市場の緩やかな回復が見られました。

このような状況のもと、当社グループは、製造分野において、今後、設備メンテナンス需要の拡大が期待される中国市場を見据え、平成22年9月より「煙台三拓進和攪拌設備維修有限公司」(中国・山東省煙台市)の操業を開始いたしました。

また、ケーブルコネクタや情報端末などFA機器の生産を目的に、現地法人「進和(天津)自動化制御設備有限公司」(同国天津市)の操業準備(平成23年春頃予定)を進めてまいりました。

一方、営業分野においては、自動車需要の拡大が見込まれるブラジルに開設した現地法人「SHINWA REPRESENTAÇÃO COMERCIAL DO BRASIL LTDA.」における営業活動が平成23年春頃より開始できるよう、その準備に取り組んでまいりました。

財務面においては、当社グループにおけるその重要性が増したことから、第1四半期連結会計期間より新たに「那欧雅進和(上海)貿易有限公司」を連結子会社に加えております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、118億91百万円(前年同四半期比20.3%増)となりました。

また、経常利益につきましては、6億63百万円(前年同四半期比204.9%増)となり、四半期純利益は4億8百万円(前年同四半期比1,072.3%増)となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)および「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用したことに伴い、セグメント区分を以下のように変更しております。

(従 来) 品目別：金属接合、産業機械、FAシステム、メンテナンスその他

所在地別セグメント：日本、米国、アジア

(今回より) 日本、米国、アジア

この変更に伴い、定性的情報において、各セグメントの対前年同期との比較は記載しておりません。セグメントに関する詳細は、10ページの【セグメント情報】をご覧ください。

①日本

ハイブリッド自動車用電池メーカーに対する新規設備や電池部品である集電板の売上が減少したものの、国内自動車メーカーに対する省力化機械装置や生産管理・指示システムなどの売上が増加したことから売上高は100億43百万円となりました。また、営業利益につきましては、売上高の増加や売上総利益率の向上により4億78百万円となりました。

②米国

北米日系自動車メーカーにおいて、既設溶接ライン設備の移設工事に伴う売上などから、売上高は8億3百万円となりました。また、売上高の伸張や売上総利益率の向上に加え、販売費及び一般管理費の削減に努めたことにより、営業利益につきましては19百万円となりました。

③アジア

第1四半期連結会計期間より「那欧雅進和(上海)貿易有限公司」が新たに連結子会社となり、中国日系自動車メーカーや日系機械メーカーに対する設備需要がありました。また、タイ、オーストラリア等の日系自動車メーカーに向けたFAシステム機器や溶接・ろう付材料や、タイ日系ゴムメーカーに向けた混練機のオーバーホール需要の増加により、売上高は10億45百万円となりました。また、営業利益につきましては、売上高の伸張に伴い、83百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①連結財政状態

当第2四半期連結会計期間末の総資産は210億42百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億11百万円増加いたしました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ6億61百万円増加し、142億97百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金が45百万円減少しましたが、現金及び預金が4億91百万円増加したほか、商品及び製品が87百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ2億49百万円増加し、67億44百万円となりました。これは主に、減価償却費などにより有形固定資産が1億58百万円減少しましたが、国内株式相場の回復により投資有価証券の時価評価が1億84百万円増加したほか、子会社に対する出資金が1億53百万円増加したことによるものであります。

流動負債は前連結会計年度末に比べ5億67百万円増加し、71億21百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が3億26百万円増加したほか、未払法人税等が1億67百万円増加したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ6百万円増加し、5億39百万円となりました。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ3億36百万円増加し、133億81百万円となりました。これは主に、利益剰余金が3億17百万円増加したことによるものであります。

以上により、自己資本比率は、前連結会計年度末の64.8%から1.2ポイント低下し63.6%となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローについては、営業活動による8億65百万円の収入および投資活動による2億11百万円の支出により、フリーキャッシュ・フローは6億53百万円の収入となりました。

また、財務活動により1億93百万円を支出した結果、当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の四半期末残高は前連結会計年度末に比べ4億91百万円増加し、55億89百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、8億65百万円(前年同四半期に比べ4億39百万円収入減)となりました。これは主に、たな卸資産の増加額1億60百万円により資金が減少したものの、税金等調整前四半期純利益6億63百万円と仕入債務の増加額3億1百万円などにより資金が増加したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は2億11百万円(前年同四半期に比べ5百万円の支出減)となりました。これは主に、平成22年9月より操業を開始いたしました当社の中国現地法人「煙台三拓進和攪拌設備維修有限公司」および、平成22年7月に設立したブラジル現地法人「SHINWA REPRESENTAÇÃO COMERCIAL DO BRASIL LTDA.」、平成23年春頃に操業を予定しております中国現地法人「進和(天津)自動化控制設備有限公司」に対する出資金として、子会社出資金の払込1億75百万円を支出したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、1億93百万円(前年同四半期に比べ29百万円の支出減)となりました。これは主に、配当金の支払額1億93百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月期の連結業績予想につきましては、平成22年10月14日に公表いたしました業績予想から変更しておりません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

①簡便な会計処理

(一般債権の貸倒見積高の算定方法)

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算定したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末の貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

(法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

法人税等の納付税額の算定に関しては、加味する加減算項目や税額控除項目を重要なものに限定する方法によっております。

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度において使用した将来の業績予測に経営環境等の変化を加味して判断しております。

②特有の会計処理の概要

当第2四半期連結会計期間(自平成22年12月1日至平成23年2月28日)

該当事項はありません。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

「資産除去債務に関する会計基準」の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号平成20年3月31日)および「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号平成20年3月31日)を適用しております。

これによる損益への影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,589,424	5,097,502
受取手形及び売掛金	7,199,444	7,245,241
商品及び製品	598,773	510,984
仕掛品	240,254	184,095
原材料及び貯蔵品	287,521	251,047
その他	389,677	411,205
貸倒引当金	△7,265	△64,246
流動資産合計	14,297,829	13,635,830
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,035,565	2,123,369
その他(純額)	2,719,502	2,790,296
有形固定資産合計	4,755,068	4,913,666
無形固定資産	66,357	73,590
投資その他の資産		
投資有価証券	1,245,795	1,061,252
その他	767,472	448,872
貸倒引当金	△90,509	△2,449
投資その他の資産合計	1,922,757	1,507,674
固定資産合計	6,744,183	6,494,931
資産合計	21,042,013	20,130,762
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,170,638	5,844,193
未払法人税等	309,740	141,962
賞与引当金	138,462	130,101
引当金	10,475	20,850
その他	491,964	416,409
流動負債合計	7,121,280	6,553,516
固定負債		
引当金	205,959	199,214
その他	333,630	333,630
固定負債合計	539,589	532,844
負債合計	7,660,869	7,086,361

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成23年2月28日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	951,106	951,106
資本剰余金	997,448	997,432
利益剰余金	13,359,679	13,042,408
自己株式	△1,134,717	△1,134,465
株主資本合計	14,173,516	13,856,482
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	56,675	△14,281
繰延ヘッジ損益	△372	△86
土地再評価差額金	△610,061	△610,061
為替換算調整勘定	△238,833	△187,854
評価・換算差額等合計	△792,592	△812,284
少数株主持分	219	203
純資産合計	13,381,143	13,044,401
負債純資産合計	21,042,013	20,130,762

(2) 四半期連結損益計算書
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)
売上高	9,886,207	11,891,803
売上原価	8,321,671	9,791,135
売上総利益	1,564,536	2,100,668
販売費及び一般管理費	1,400,232	1,514,639
営業利益	164,303	586,028
営業外収益		
受取利息	8,233	18,654
受取配当金	23,883	3,694
デリバティブ評価損戻入	16,320	65,540
受取賠償金	14,291	—
その他	15,599	16,280
営業外収益合計	78,327	104,169
営業外費用		
為替差損	21,911	25,457
その他	3,211	1,561
営業外費用合計	25,123	27,018
経常利益	217,508	663,179
特別利益		
固定資産売却益	2,841	669
貸倒引当金戻入額	1,921	240
特別利益合計	4,762	909
特別損失		
投資有価証券評価損	64,464	—
固定資産除却損	—	242
製品補償損失	8,060	—
その他	649	—
特別損失合計	73,175	242
税金等調整前四半期純利益	149,095	663,846
法人税、住民税及び事業税	103,854	312,851
過年度法人税等	37,272	—
法人税等調整額	△26,921	△58,046
法人税等合計	114,204	254,804
少数株主損益調整前四半期純利益	—	409,041
少数株主利益	1	42
四半期純利益	34,889	408,999

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年9月1日 至平成22年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年9月1日 至平成23年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	149,095	663,846
減価償却費	185,875	180,908
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,088	31,128
賞与引当金の増減額(△は減少)	8,418	8,361
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△7,600	△10,375
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△4,820	8,130
退職給付引当金の増減額(△は減少)	200	△1,385
受取利息及び受取配当金	△32,116	△22,348
有形固定資産除売却損益(△は益)	△2,791	△426
為替差損益(△は益)	△235	577
投資有価証券評価損益(△は益)	64,464	—
デリバティブ評価損益(△は益)	△16,320	△65,540
売上債権の増減額(△は増加)	212,986	110,548
たな卸資産の増減額(△は増加)	△167,927	△160,485
仕入債務の増減額(△は減少)	1,002,937	301,624
未払消費税等の増減額(△は減少)	△80,741	2,746
前渡金の増減額(△は増加)	7,374	△65,872
前受金の増減額(△は減少)	3,439	89,718
その他	24,361	△163,223
小計	1,347,688	907,934
利息及び配当金の受取額	33,228	22,975
法人税等の支払額	△75,802	△148,943
法人税等の還付額	—	83,333
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,305,115	865,300
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△39,396	△38,184
有形固定資産の売却による収入	12,187	3,646
無形固定資産の取得による支出	△57,645	△1,710
子会社出資金の取得による支出	△130,391	△175,609
差入保証金の回収による収入	1,141	2,809
差入保証金の差入による支出	△2,551	△1,650
保険積立金の積立による支出	—	△812
投資活動によるキャッシュ・フロー	△216,655	△211,510
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△421	△326
自己株式の処分による収入	253	90
配当金の支払額	△223,768	△193,722
少数株主への配当金の支払額	△39	△22
財務活動によるキャッシュ・フロー	△223,974	△193,981
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14,085	△15,332
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	850,400	444,475
現金及び現金同等物の期首残高	4,928,186	5,097,502
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	47,445
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,778,586	5,589,424

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項なし

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年9月1日至平成22年2月28日)

当社グループは、主として製造業における生産設備及び資材の製造、販売、メンテナンスを営んでおりますが、同事業の売上高、営業利益の金額は全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年9月1日至平成22年2月28日)

	日本 (千円)	米国 (千円)	アジア (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	9,128,804	421,699	335,703	9,886,207	—	9,886,207
(2) セグメント間の 内部売上高	340,813	157,501	49,958	548,273	(548,273)	—
計	9,469,617	579,201	385,661	10,434,480	(548,273)	9,886,207
営業利益又は営業損失(△)	199,980	△59,228	17,447	158,199	6,104	164,303

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度により区分しております。

2 アジアの内訳は次のとおりであります。

アジア … 中国、タイ

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間(自平成21年9月1日至平成22年2月28日)

	アジア	北米	その他	計
I 海外売上高(千円)	1,142,600	499,120	224,781	1,866,502
II 連結売上高(千円)	—	—	—	9,886,207
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	11.6	5.0	2.3	18.9

(注) 1 地域は、地域的近接度により区分しております。

2 各区分に属する地域の内訳は次のとおりであります。

(1) アジア … 中国、台湾、タイ他

(2) 北米 … 米国、メキシコ、カナダ

(3) その他 … 英国、南アフリカ、ベルギー他

3 海外売上高は、当社および連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、製造業における生産設備及び資材の製造、販売、メンテナンスを主な事業としており、国内においては当社が、海外においては米国、アジアを独立した現地法人がそれぞれ担当しております。各現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、取り扱う製品について各地域の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社グループは、製造・販売体制を基礎とした地域別のセグメントから構成されており、「日本」、「米国」及び「アジア」の3つを報告セグメントとしております。

2 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)

	報告セグメント			合計 (千円)
	日本 (千円)	米国 (千円)	アジア (千円)	
売上高				
外部顧客への売上高	10,043,623	803,003	1,045,176	11,891,803
セグメント間の内部売上高 又は振替高	934,023	130,293	71,236	1,135,552
計	10,977,646	933,297	1,116,412	13,027,356
セグメント利益	478,923	19,835	83,262	582,021

3 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

当第2四半期連結累計期間(自 平成22年9月1日 至 平成23年2月28日)

利益	金額 (千円)
報告セグメント計	582,021
セグメント間取引消去	14,659
未実現利益の調整	△10,652
四半期連結損益計算書の営業利益	586,028

(追加情報)

- 第1四半期連結会計期間より「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。
- 第1四半期連結会計期間より、那欧雅進和(上海)貿易有限公司の重要性が増したため、連結範囲に含めたことに伴い、アジアに含めて表示しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項なし